

平成19年度上期  
来函観光入込客数推計

函館市商工観光部観光振興室観光課

# 平成19年度上期来函観光入込客数推計

## 1 目的

本市の観光に関する諸資料とするため、平成19年度上期における来函観光入込客数、交通機関別入込数などの推計をまとめた。

## 2 観光入込客数の概要

平成19年度上期における観光入込客数は、約322万人で、前年度同期に比べ約8万5千人(2.6%)の減となった。

月別では、4月から8月までは、前年度に比べ減少したが、9月については、増加した。

交通機関別では、フェリーおよび乗用車は、前年度に比べ増加したが、JR、バス、航空機については減少した。

## 3 観光入込客数の傾向

(1) 上期の観光入込客数については、昨年に引き続き、人気のある旭山動物園や平成20年度開催の北海道洞爺湖サミットを控えた洞爺湖、さらには沖縄や南九州などとの地域間競争により、4月から8月までは、ゴールデンウィークと夏休みの期間を中心に、前年同期に比べ減少した。

しかしながら、9月は、函館・青森間新高速フェリー「ナッチャンRera」が就航したことや、3連休が2回続いたこと、さらには台風などの天候による影響が少なかったことなどから、前年同期に比べ4.8%の増となった。

(2) 乗用車については、シーニックバイウェイの浸透など、レンタカーやマイカーによる、個人・グループ型の周遊観光の人気が高まっていることから、前年同期に比べ2.7%の増加となった。

(3) 航空機については、国際線ではソウル便の利用客数が漸増傾向により推移している一方、台湾からのチャーター便が減少した。また、国内線でも、主要路線である東京・関西・名古屋の機材縮小などの影響により、前年同期に比べ8.0%の減少となった。

# 平成19年度上期来函観光入込客数推計

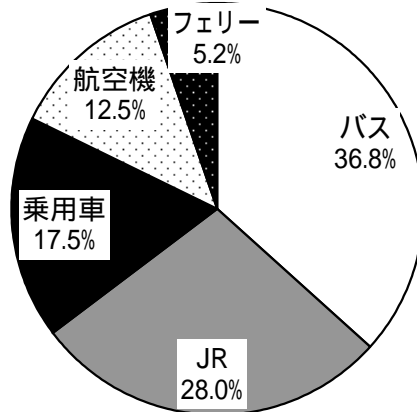
## 交通機関別観光客数

上段：平成19年度

下段：平成18年度

順位	交通機関	観光客(千人)		前年度対比	交通機関別構成比
1	バス	19	1,183.5	(%)	36.8
		18	1,241.2	95.4	37.6
2	JR	19	900.1	98.7	28.0
			海峽線		
		函館本線	472.0	101.8	14.7
		18	912.1		27.6
			海峽線		
		函館本線	463.7		14.0
3	乗用車	19	564.3	102.7	17.5
		18	549.5		16.6
4	航空機	19	403.4	92.0	12.5
		18	438.7		13.3
5	フェリー	19	168.3	103.0	5.2
		18	163.4		4.9
合計		19	3,219.6	97.4	100.0
		18	3,304.9		100.0

交通機関別構成比



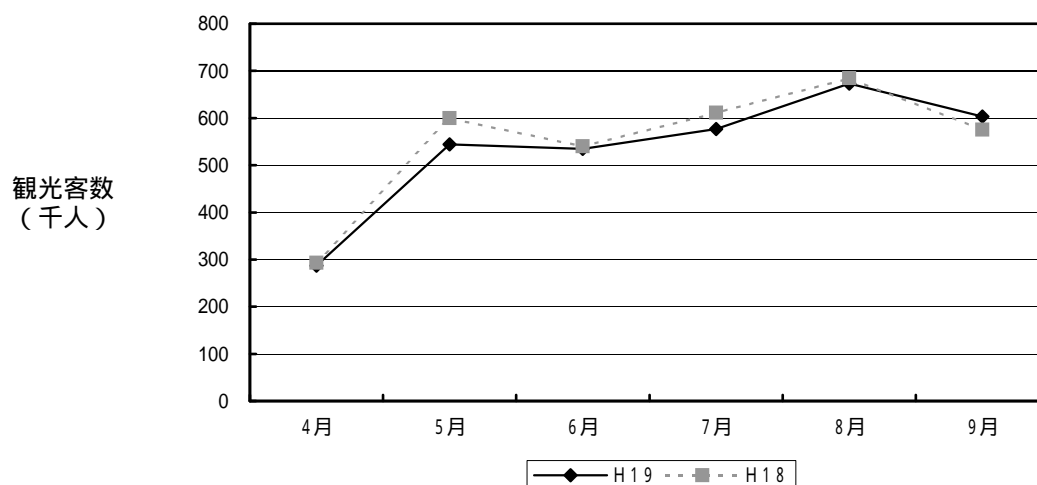
## 月別，道外・道内別，宿泊・日帰り別観光客数

上段：平成19年度

下段：平成18年度

(単位：千人)

区 分		観 光 客 数				宿 泊・日 帰 り 別	
		道 外	道 内	計	前年度対比	宿 泊	日 帰 り
4 月	19	183.2	104.1	287.3	98.0	141.8	145.5
	18	188.8	104.4	293.2		145.7	147.5
5 月	19	336.3	208.2	544.5	90.7	319.1	225.4
	18	382.3	217.8	600.1		363.0	237.1
6 月	19	344.4	190.6	535.0	99.1	310.9	224.1
	18	353.3	186.6	539.9		331.5	208.4
7 月	19	373.7	203.1	576.8	94.4	329.9	246.9
	18	404.2	207.1	611.3		354.3	257.0
8 月	19	416.7	256.2	672.9	98.2	443.1	229.8
	18	432.7	252.2	684.9		450.8	234.1
9 月	19	399.1	204.0	603.1	104.8	363.9	239.2
	18	382.9	192.6	575.5		353.0	222.5
上 期	19	2,053.4	1,166.2	3,219.6	97.4	1,908.7	1,310.9
	18	2,144.2	1,160.7	3,304.9		1,998.3	1,306.6
構成比 (%)	19	63.8	36.2	100.0		59.3	40.7
	18	64.9	35.1	100.0		60.5	39.5



## 年度別観光入込客数の推移(参考)

(単位：千人)

年 度	上 期	下 期	合 計	前年度対比
平成10年度 (1998)	3,844	1,548	5,392	101.7
平成11年度 (1999)	3,802	1,505	5,307	98.4
平成12年度 (2000)	3,324	1,561	4,885	92.1
平成13年度 (2001)	3,631	1,672	5,303	108.6
平成14年度 (2002)	3,603	1,708	5,311	100.2
平成15年度 (2003)	3,610	1,638	5,248	98.8
平成16年度 (2004)	3,501	1,566	5,067	96.6
平成17年度 (2005)	3,259	1,584	4,843	95.6
平成18年度 (2006)	3,305	1,560	4,865	100.4
平成19年度 (2007)	3,220		3,220	97.4

前年度上期と対比

